

2010年度(平成22年度)学校評価自己評価表

最終更新日	2011年(平成23年)2月10日
-------	-------------------

校番27	福山市立春日小学校
------	-----------

1 学校教育目標

つながり、広がり、高め合う

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

- (1) 基礎・基本の確実な定着と生きる力の育成
 - ・学び方を身に付け、あたりまえのことがあたりまえにできること
- (2) たくましく、あたたかみのある人間性の醸成
 - ・優しさと強さをもち、目標に向かってねばり強くやりぬくこと
- (3) かかわりあいを大切にした生き方の指導
 - ・地域や家庭とつながり、教育力を高めること

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

- (1) 子ども像 「知恵をみがく子・心をみがく子・体をみがく子」
- (2) 教師像
 - ・専門性と指導力、使命感を持った教師
 - ・温かく子どもや保護者、地域の声を受け入れる教師
 - ・教育公務員として法令を遵守し、職責を全うする教師
- (3) 学校像
 - ・学校行事に進んで保護者が参加する学校
 - ・地域、家庭に支えられた学校
 - ・期待と信頼感をもった学校

3 自校の現状分析

(確かな学力) 習得・活用・探究の授業づくりを推進し、学力状況調査において、算数科では、全国平均をA問題は2.2ポイント、B問題は2.8ポイント上回った。国語科では、A問題は2.1ポイント下回り、B問題は1.1ポイント上回った。思考力・判断力・表現力を問う記述式設問に課題があり、課題克服に向け、「思考力・判断力・表現力を高める国語科授業の創造」という研究主題を設定し、授業研究を推進する。

(豊かな心) 全体的には基本的生活習慣の定着や規範意識が高まりつつあるが、個々については、課題がある。規律3要素の徹底とともに、規範意識を高める取組みを継続する。

(健やかな体) 体力テスト8種目中6種目について県平均を上回ったが、50m走については、課題がある。計画的・組織的・継続的な体力づくりを推進する。

(力量ある教職員) 示範授業・部内研究・全体研究等、授業研究を主体的に行う体制は確立している。各教科・領域等、教育活動全体の中で書く活動を位置づけ、思考力・判断力・表現力を高める授業力を向上させる。

(市民から信頼される学校) 学校便りの発行や毎日のホームページ更新等によって、情報発信を行うとともに、参観日毎のアンケート実施等によって保護者・地域の評価を受け、教育推進の改善を行っている。

4 研究主題

(1) 研究主題

「思考力・判断力・表現力を高める国語科授業の創造」
 ―サブテキストを活用した書く活動に視点を当てて―

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
福山市 広島県	・福山市教育研究支援事業 (国語科・総合的な学習の時間)	2008~2010年度 (平成20) (平成22)

5 今年度の重点目標と設定理由

重 点 目 標	設 定 理 由
○書く力の育成を通じて、思考力・判断力・表現力を高める。	○思考力・判断力・表現力を培うためには、学習の基盤となる「ことばの力」、特に書く力をつけることが必要である。
○規範意識を高め、道徳的実践力を育てる。	○たくましく、あたたかみのある人間性の醸成のためには基本的生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに道徳的実践力を育てることが必要である。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

重点 目標	年 目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(最終)経営目標の達成状況 ◎ 改善方策 ※ %数値は、目標の指標(達成度)比較は、2学期時		
確 かな 学 力	2	「書く力」を育て、実生活に生かす	★	継続	・意欲を持って幅広く書く活動を進め、積極的に文章を書く	B	◇補充学習や、学習習慣の定着などにより評価テストの「書く」の通過率が85%以上になる。	b	□補充学習を実施97%、計画表を作成して取り組めた。 □学習習慣の定着「学び方8項目」の定着率は79.5%(7.1P上) □「書く」の通過率…全体で79%(2.8P下)。「サブテクスト」を活用しての書く領域での定着率は84%だった。		
							◇継続した読書指導で、学年読書目標達成が80%以上になる。 ※学年目標(中間報告後下方修正) 1年:80冊 2年:100冊 3年1000P 4年:1200P 5年:1500P 6年:1500P			a	□1年:93% 2年:100% 3年:85% 4年:76% 5年:97% 6年:79% 学校平均88% ○書く活動の場は設けていたが、書く活動における児童の積極性、指導の継続性が不足していた。 ◎学習ガイドの定着や全校での読書表彰等を継続し、「読むこと」、「書くこと」の意欲向上を図る。 ◎自己肯定感を育む授業展開を実践する。
							△「学び方」のノートの書き方が90%以上定着。 ▽新聞への投稿を2学期と3学期に1度行う。 ※(中間報告後表現を修正) ▽日記を週に2回以上書かせ、コメントする。				
				新規	・児童が書いた文章を新聞や学級通信等へ積極的に公開する。	a	□「日記を週に2回書かせる」については、100%達成したが、コメントについては2学期と変わらなかった。 ○児童が書いた文章の公開は、児童の関心を高めるのに有効だったが公開の頻度の学級差がみられた。 ◎今後も学習ガイドの徹底と作文指導を継続しながら、日記指導の意義を確認し、書くことに対しての肯定的評価を行う。				
								b	□「5つの約束」、「きまりを守る」の肯定的評価(児童・教師)が90%以上。 ※(中間報告後表現を修正…保護者割愛) ▽児童会は、年間計画の中で、毎月1回以上、学校全体へ投げかける取り組みをする。		
				豊かな心	2	日常生活における身近なきまりや約束が果たせる	★			継続	・「春日っ子5つの約束」と「学校のきまり」を守ることができる。
a	□100%達成した。毎月の児童会目標と運動させており、春日っ子集会において毎回投げかけた。集会の態度がよくなった。 ○「春日っ子5つの約束」、「学校のきまり」については、少しずつ改善されてきている。(児童・教師評価より) ◎児童の自己肯定感を育てながら引き続き規範意識を高め、PDCAが短いサイクルで回るよう取り組む。										

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

た ま ご の 体	2	自らの生活を改善させる中で、体力・健康づくりを行う	継続	・継続した体力づくりにより、体力の向上を図る。	<p>◇継続しての取り組み(節目になる行事や取り組み、日常の実践)により、種目率(県数値)が1学期で50%、3学期で70%以上になる。</p> <p>△健康や安全についての関心が高まり、校内でのけかの状況が昨年度よりも20%減少する。</p>	<p>a</p> <p>c</p>	<p>□サーキット→94%(2P下)、ストレッチ85%(15P上)、整列の仕方88%(10P上) 種目率82.3%(種目数96、県平均を上回った数79) 50m走、長座体前屈、反復横跳びの記録が低調(同傾向)</p> <p>□スポーツ振興センター請求件数:昨年度47件→今年度50件 教室内は減ったが、休憩時間の運動場でのけかが増えた。 ○計画に沿って体力の向上が図られているが、それに伴う健康・安全面では、課題が残されている。 ◎行事を節目として運動の仕方を指導(運動会、縄跳びギネス、持久走記録会)する。 ◎けかの状況を知らせる掲示物をより工夫し、生徒指導とも絡めて、雨天時を含めた遊び方指導を徹底させる。</p>
	力量 あ教 る職 員	1	経営力を向上させる	★ 見直し	・教職員の授業力、学級経営力、マネジメント力をつける。	<p>△授業力の向上では、授業チェック項目による自己評価が80%以上になる。</p> <p>△学級経営力の向上では、学級経営チェック項目による自己評価が80%以上になる。</p> <p>△マネジメント力の向上では、スケジュール管理ができ、企画書の自己評価が90%以上になる。</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>a</p>
信 頼 さ れ 学 校	2	計画的な危機管理を通して、安心・安全な学校経営を行い、学校教育の満足度を高める	継続	・日々のチェックや研修で危機管理意識を高め、環境面、指導面、情報発信面等で保護者からの評価を得る。	<p>△各参観日ごとに行う保護者へのアンケート(教室環境・学校環境・指導・児童態度・情報発信)結果が80%以上になる。 (日本一宣言)</p>	<p>b</p>	<p>□1月の保護者アンケートによると、教室環境77.9%、学校環境75.1%、児童への指導84.6%、児童の授業態度73.7%、情報発信78.0%であった。 ○保護者の満足度については、78.0%で、昨年度の同時期に比べ、6ポイント上昇した。 ◎児童の学習態度(学習規律)については、昨年度より5ポイント上昇したが、依然として課題である、「授業改善サイクルの定着」に取り組み改善する。</p>